



# 新体制自治会スタート

第39期自治会長になって

福永 哲夫

この度自治会長に選出された福永です。

今回の会長及び役員を選出方法は従来と異なり、階段委員からの選出で無く、公募により選出する方法で決まりました。

もともと立候補で無く、推薦された形で選出されました。

今まで会長の選出にはなり手がいない為 選出に手間取るケースが多々発生していました又、階段委員の負担が夏及び冬のイベントにかかりすぎて、階段委員のなり手にも支障をきたす状態が出てきました。

これらを少しでも軽減する形で、主要な役員 及び夏及び冬のイベント対応の役員を別途選任し、対応することになりました。

このような形で自治会活動をスタートすることは、過去38年間の自治会活動の中で、発足以来初めてのことです。

従いまして、活動を進めていく上で、色々と不具合がでることが予想されます。

しかしながら、従来より少しでも良くなる形でスタートしましたので、一つ一つ改善して行ければと考えています。

これからの自治会活動のあり方を1年間考えてみたいと思います。

自治会員の皆様が自治会活動に期待していることは何なのかを見つけ、それに答えていくことが大事なことはないでしょうか？

住民の高齢化が進んでいますが、一方若い人たちも移り住んで来られています。

全ての自治会員(居住者全て)を満足させることは難しいとは思いますが、自治会役員の考えだけで活動せず、広く会員の意見を集約し、活動を進めていきたいと思っています。

自治会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。

# 防災訓練実施しました



5月22日 晴れ







## 防災くんれん

この前の日よう日にほくの団地で防災くんれんがありました。

まず非常ベルがなり、お父さんがベランダに出て黄色い布を手すりに付けました。イエローサインといって「この家は大丈夫」という合図だそうです。

その後でみんなと集会所に行きました、大きな消防車が来ていました。

みんなが集まったら班に分かれて順番にくんれんをしていきます

最初はAEDです、巨人の阿部選手に似た消防士さんにやり方を教えてもらいました。ほくはAEDを持ってくる役でした、お父さんが人形の胸を何回も押して疲れたと言いました。

次に消火器をやりました。「火事だぁ！！」と大きな声で言ったら、ほめられました。その横にあるけむりが入っているテントの中をとおりました。

ハンカチで口と鼻をおさえて、しゃがんで歩きました。ほくはいつもハンカチを忘れてお母さんに怒られるけど、これからは忘れないようにしようと思いました。

最後に三角巾の練習をしました。頭と手をケガした時のしぼり方を、お父さんとやりました。お父さんは上手に出来たけど、ほくにはむずかしかったです。

お水と非常食をもらって帰りました。

昼ごはんは非常食にお湯を入れて食べました。お父さんは「おいしい」と言ったけど、ほくはお母さんのごはんの方がおいしいと思いました。

「災害に備える会」 まつ田しげる

# 春・吉日、つつじ祭開催

前日の雨が気になる4月29日の朝、  
なんとか雨も上がって長浜公園には  
グランドゴルフのメンバーが続々と  
集まってきた。ブラウンハイムは2チーム  
の参加。開会宣言…準備体操をしてか  
らゲームが始まった。風が強く鯉のぼり泳ぐ  
なか、あちらこちらで「おおーっ!」「ナイスショット」と

声が掛かる。相手のチームでもナイスショットには大きな拍手がわくところは、スポーツの  
素晴らしい所だと感じさせられる。1ゲームが終わり、プレーの合間に、お弁当とお茶の  
昼食をとる。午後からは天気も回復…



おなか満たされ  
さあ がんばるぞ!

今回は46チーム中35位・39位となり、35位には飛び賞がいただけた。

知らず知らずのうちに引き込まれていく グランドゴルフ…

この秋は、あなたも参加してみませんか？

(イベント部)

咲き始めたつつじ達も声援をおくる…





# 入学おめでとう ございます

4月5日の朝、カメラを構える親御さんと、  
真新しいランドセルを背負って向き合う  
お子様をお見掛けしました。

この春ブラウンでは4名が、小学校にあがりました。



## 7月30日はぶらうん夏祭りです

今から30年ちかく前、ブラウンハイムの ”工作好きな お父さん達” による、一大プロジェクトが始まりました。ずーっと ずーっと 将来も使える本格的な御輿を作ろう！ 自分たちの手で！  
先行きにちょっぴり不安を抱えつつも、オジサンたちの挑戦はスタート。  
木材を調達し、のこぎりで切りヤスリをかける。 知恵を絞って装飾も工夫。  
本来の用途は知らない金属の輪っか、繫いで吊るせばキラキラ光ってそれっばいね…  
どうしても欲しい本物の部品は浅草まで買いに行ったとか。  
時には子供たちも巻き込んでの共同作業が、休日の集会所で繰り広げられました。  
紆余曲折の末、御輿第一号完成。 のちに山車と子供御輿が完成。  
山車の側面のブラウンハイムの文字は、パソコンなど普及してない時代、フリーハンドでかたちを起こしたもの。 勇ましさには欠けるけど、なんとなく味があるでしょ。  
御輿保存に携わる有志の方々をはじめ、夏祭りを盛り立ててくださる住民の皆さんによって今日まで受け継がれてきました。 もうすっかりブラウンハイムの伝統となりましたね。